

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	神林久雄
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	4190 歩道段差解消事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	01020500 障がい福祉の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	030110 民生費・社会福祉費・地域福祉推進費					
	事業	010000 歩道段差解消事業					
事業目的				事業概要・効果			
<p>市内の歩道は、マウンドアップ構造で段差があるため、高齢者・障害者・児童にとって必ずしも快適な歩道空間といえないことから、ユニバーサルデザインのまちづくりを目指すため歩道の段差解消を実施する。</p>				<p>住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるために、ユニバーサルデザインの整備を継続し、全ての人に優しいまちづくりを創出する。</p>			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
歩道段差解消工事 高甫南原線 L = 120m	歩道段差解消工事 太子町線 L = 123m
平成24年度 実績	平成25年度 実績
歩道段差解消工事 太子町線 L = 190m	歩道段差解消工事 太子町線 L = 134m 高甫南原線 L = 288.9m 村山墨坂中学校線 L = 220m
平成26年度 実績	平成27年度 予定
歩道段差解消工事 村山墨坂中学校線 L = 300m	歩道段差解消工事 相森中学校線 L = 200m

指標名	歩道段差解消工事延長						
算式						単位	m
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標			450	200		
	実績	123	190	742.9	206		
指標選定の理由	地元要望、緊急度及び財源等により工事实施計画を策定						
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		19,763	18,500
特定財源	国庫支出金	1,027	7,400
	都道府県支出金	0	0
	地方債	6,550	9,900
	その他	0	0
一般財源		12,186	1,200
人員数(人)	正規職員	0.3	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,057.4	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,057.4	0.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		21,820.4	18,500.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,033	
15節 工事請負費	15,730	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	測量・設計委託
15節 工事請負費	18,500	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	第四次須坂市障がい者等長期行動計画及び須坂市次世代育成支援行動計画等からも必要。障がい者や高齢者、子育て等の通行に際し優しい歩道の確保。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	緊急度等からの優先順位を決め整備。安心安全で快適に通行していると考えます。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	現地踏査等によりコスト削減を検討し整備を実施。工事は国の交付金を活用し実施。受益者負担金は事業性から困難。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

実施計画通りに事業は順調に進捗している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
財源を確保し、計画的に継続実施する。		すべての人にやさしい快適な歩道空間を提供するために段差をなくした歩道整備を進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	